

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ



● 常木らくだ ●

6月18日の大阪府北部地震から2週間が経ちました。

ガスや水道や交通網は復旧しているし、身体に感じる余震も減ってきましたが、地元の図書館などはまだ再開していません。

そういえばふと思い出したんですが。

だいぶ前に北京で働いていた時、震度1のごく小さい地震があつて。

でもまあ震度1だし、自分は構わず仕事を続けたんですが、周囲にいた中国人はみんな驚いて外に逃げたという。

彼らいわく、

「あんたなんで逃げないの！」

「何かあったらどうするんや！」

「仕事よりも命の方が大事だろ！」

って感じで本気で心配されました（汗）

こちらとしては「いや震度1だし」みたいな心境ですが、地震が少ない地域からすれば、地面が揺れるのはものすごい衝撃なんだろうと思います。

もちろん大騒ぎするのがいいわけじゃないですが、「そもそも揺れるのが当たり前」みたいな日本人の感覚って、もしかしたらちょっと特殊なのかも……と感じた出来事でした。

結論としては、

「非常時の備えはしつつ、でも過度の心配はしないで、心穏やかに日々過ごす」

これが実践できればいいですよ。

今はまだ正直不安もありますが落ち着いて過ごせるように努めたいです。

こんにちは、らくだです。

今回はカクヨム甲子園の応援企画をご紹介します。

前に応援ツイートのキャンペーンを紹介しましたが、それとは別口で、カクヨム甲子園 2018 のポスターを撮影する企画です。

詳細はカクヨム公式ブログをご覧ください。

【カクヨム甲子園 2018 を告知してね！キャンペーン】

- ・ 期間 7月2日（月）～7月31日（火）
- ・ 賞品 図書カード 1,000 円分（20 名様）

<参加方法>

1. カクヨム公式アカウントをフォロー
2. カクヨム甲子園のポスターを貼る or 発見する
3. そのポスターを写真に撮って一言コメントを書く
4. ハッシュタグ「#カクヨム甲子園のポスター見たよ」「#カクヨム甲子園のポスター貼ったよ」をつけてツイート

ちなみに該当ポスターはまだ配布している模様。

積極的に応援したい場合は自分で申し込むのもいいですね。

なお配布が終わった後も、ポスターを見つけたら応募できるので、図書カードをもらうチャンスはあります。

狙って探すのはなかなか難しいと思いますが、学校や書店や図書館などに貼ってあるようなので、チェックしてみるのもいいかもしれません。

以上、「カクヨム甲子園 2018 を告知してね！」キャンペーンの紹介でした。

こんにちは、らくだです。

小説家になろうを運営する「株式会社ヒナプロジェクト」が求人募集をしているようです。

【求人情報】

<https://hinaproject.co.jp/recruit/recruit.html>

<概要>

- ・常勤 17 名
- ・平均年齢 27 歳
- ・なろうの月間 PV は 16 億以上
- ・本社は大阪府枚方市（ひらかたし）
- ・社内は全体的に明るくキレイな印象

個人的には本社が枚方というのが軽く衝撃的でした。

地震会見の際、官房長官が「まいかた」と言って話題になった、あの枚方です。

実は近所だったのか！

てっきり東京だと思ってたのに！

それはそうと、上にも書きましたが、載っている写真が全部明るくキレイなのが印象的ですよね。

こういうオフィスって、せまくて散らかっているイメージ（偏見）だったので、見る目が変わりました。

肝心の求人については、書き手の皆様には直接関係ないかもですが、写真もたくさんあるのでサイトをチェックしてみてもいいかなと思います。

こんにちは、らくだです。

話題が遅くてすみませんが、第 14 回 MF 文庫 J ライトノベル新人賞（第 4 期）の 1 次発表が、6 月 25 日にありました。

以下リンク。

通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://bc.mediafactory.jp/bunkoj/award/result/#fourth>

- ・ 応募総数 521 本
- ・ 1 次通過 161 本
- ・ 通過率 約 31 %

あまり人の年齢で騒ぐのも良くないですが、今回はなんと 83 歳の通過者がいて、その件が一部で話題になっているようです。

83 歳というと昭和 10 年前後の生まれ。

自分の両親よりもさらに一回り上の世代です。

その年齢で小説を書くのはわかります。

書いた小説を投稿しようと思ったのもわかります。

だけど、応募先にわざわざ MF を選び、しかも通過するとか何者なんだ！？（汗）

というわけで、この御大には是非とも受賞してもらい、MF のみならず最年長ラノベ作家の記録を更新して欲しいです。

以上、83 歳の通過者の話題でした。

こんにちは、らくだです。

第8回講談社ラノベ文庫新人賞の1次発表がありました。

以下リンク。

通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://lanove.kodansha.co.jp/award/rookie/8/>

- ・ 応募総数 432 本
- ・ 1次通過 98 本
- ・ 通過率 約 23 %

感想としては複数通過が目立ちます。

3作通過はかなりの人数で、4作通過もいて、中には5作通過という猛者も。

ちなみに自分は複数投稿については賛成派。

実際に複数投稿して複数通過していたような時期もありました。

ただ昔は複数投稿が一般的ではなかったので、「駄作を量産せず1作に集中するべき」という意見も多く、自分のような人間は割と少数派だった気が。

別に1作集中だからクオリティが高いとは限らないんじゃないか……。

逆にたくさん書いたから駄作に決まっているとも限らないし……。

(という恨みがましいグチ)

とにかくそんな経緯がありましたが、今は昔と違って投稿スタイルが多様化しており、それこそ83歳のおじいちゃんもいるくらいですし、人それぞれ色々な向き合い方があっていいと思います。

以上、話が少々それましたが、講談社ラノベ1次発表の話題でした。

こんにちは、らくだです。

近所一帯に緊急避難指示が出ましたが、自分の住所だけピンポイントに除外されており、逆に不安になっているところですよ。

これで『大雨でらくだが孤立』みたいなニュースになったら、このブログの読者さん達に、アイツ逃げればよかったのに……と思われるんじゃないでしょうか。

さて本題。

ノベル大賞 2018 の4次発表がありました。

以下リンク。

7月という予告はありましたが上旬に来たのは少々驚きです。

【発表ページ】

<http://orangebunko.shueisha.co.jp/novel-award/result>

- ・ 1次通過 429本
- ・ 2次通過 169本
- ・ 3次通過 46本
- ・ 4次通過 11本

感想：驚異の東日本率！

それにしても MF の年齢もそうですが、発表時にペンネーム以外の情報があると、通過リストをチェックするのがより楽しいですね。

なお最終発表は8月1日らしいので、今年は何の作品が受賞するのか、情報の更新を楽しみにしたいです。

こんにちは、らくだです。

第8回集英社ライトノベル新人賞（前期）の1次発表がありました。

以下リンク。

通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://dash.shueisha.co.jp/award/dx8thAwardEarly/result.php>

- ・ 応募総数 270 本
- ・ 1次通過 60 本
- ・ 通過率 約 22 %

感想：くまが4作通過……だと……？

いやほら。

自分自身が「らくだ」だからね。

動物ペンネームをライバル視しちゃうんですよ。

と思ってよく見たら他にもいるじゃないですかー！

「しゃけ」「小鳥」「羊」「ひよこ」「タヌキ」「さんご」

完全に出遅れたよ！

これなら自分も応募してアニマル天国に混ざりたかった！

まあ、さんごがアニマルかは微妙ですが、とりあえず4作通過のくまさんは個人的に応援したいです。

以上、集英社ラノベ1次発表の話題でした。

こんにちは、らくだです。

ウェブコバルトの投稿企画「妄想バブル小説賞」の結果発表がありました。

以下リンク。

受賞者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/bubble_novel_result/

<大賞『B A B B L E』>

6ページにまとまっている作品です。

バブルとSFが融合した世界観……というとなしそうですが、笑えるネタ満載で、コバルト文庫の宣伝もサラリと混じっている力作でした。

特に自分の世代だと「そのネタかい！」と思うこと間違いなし。

例の24時間戦えますか～のCMって、今の若い子は知ってるんでしょうか。

設定で勝負する作品なので、オチは短いですが、大賞を取ったのも納得です。

<佳作『楽しくて、寂しい』>

こちらはやや長めで19ページの作品です。

派手な生活を謳歌するJK、でも内心は寂しくて……という内容。

私自身はこの主人公と違って、極めて地味な高校時代を過ごしましたが、10代の頃の「漠然とした不安感」にすごく共感できました。

バブル関係なしに現代舞台でも通用するストーリーだと思います。

今回公開されたのは以上の2本。

どちらの小説も面白く読み応えがありました。

できれば選外佳作の6本も読みたかったですが、コバルトは何かしらの投稿企画を常時開催しているので、また面白いコンテストがあるのを期待しています。

こんにちは、らくだです。

ようやく西日本の広い範囲で梅雨明けしました。
今後は雨の日が減ると思うとホッとした気分です。

とはいえ豪雨被害の復興にはまだまだ時間が必要な気配。
被災地の皆様が少しでも早く日常を取り戻せるよう願います。

さてさて。
第 17 回角川ビーンズ小説大賞の 2 次発表がありました。

以下リンク。
通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<https://beans.kadokawa.co.jp/award/17th-award/entry-1353.html>

- ・ 1 次通過 45 本
- ・ 2 次通過 13 本

応募方法の内訳はカクヨム 5 本、郵送応募と WEB 応募が 8 本です。

ちなみにビーンズに限った話ではありませんが、通過作がカクヨム応募の場合、誰でも検索できるし読むことができるんですね。

これを「アクセス増えるやったー！」と思うか、「手の内を明かしたくないからイヤ！」と思うかは、人によって価値観が大きくわかれそうな気がします。

以上、ビーンズ 2 次発表の話題でした。

毎年7月10日だけブログのPVが異常に跳ね上がる怪現象。

いやいやちょっと！

自分は電撃送ってないから！

ここに冷やかしにきても無駄だから！

というわけで電撃の1次発表がありました。

今回は珍しく前日フラゲはなかった模様です。

【発表ページ】

http://dengekitaisho.jp/announce_25_01.html

- ・ 応募総数 4,843 本
- ・ 1次通過 510 本（長編 424 本、短編 86 本）
- ・ 通過率 10.53 %

通過率は約1割でした。

お名前のあった皆様はおめでとうございます。

ところで現在、カクヨムで電撃《新文芸》スタートアップコンテストが開催中で、注意事項に「第25回電撃大賞の1次落ち作品も可」という記載があります。

応募するにはカクヨムに作品をUPする必要がありますが、電撃でデビューできるチャンスがもう1度あるわけですし、ネット公開に抵抗のない方は挑戦してみてもいいかもしれません。

【電撃《新文芸》スタートアップコンテスト】

https://kakuyomu.jp/contests/dengekibunko_contest

以上、電撃1次発表の話題でした。

こんにちは、らくだです。

6月分のブログをパブーにアップしました。
紹介が遅れましたが何卒よろしくお願いします。

【らくだ図書館 (75)】

<http://p.booklog.jp/book/122869>

もう1つ小さな告知を。

昨日のブログで紹介した「電撃《新文芸》スタートアップコンテスト」に私もひっそり応募中です。

何年も載せっぱなしの既存作ですが、確認したら文字数等の規定を満たしていたので、どさくさに紛れて参加してみました。

【電撃《新文芸》スタートアップコンテスト】

https://kakuyomu.jp/contests/dengekibunko_contest

【激烈ワナビ戦 (カクヨム)】

<https://kakuyomu.jp/works/4852201425154962046>

しかしアレですね……。

ネット小説のコンテストって応募するのが簡単ですね……。

必要な操作は編集画面で「コンテストに参加」ボタンをクリックするだけ。

もちろん手軽なのはいいことですが、この便利さに慣れてしまったら、紙での投稿に戻れなくなりそうです。

以上、個人的な告知記事でした。

こんにちは、らくだです。

えんため大賞のゲーム部門「第2回えんため大賞×RPGアツマール自作ゲームコンテスト2018」が今年も開催決定しました。

詳細は公式サイトをご覧ください。

【自作ゲームコンテスト2018】

http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/originalgame_2.html

ここ最近のえんため大賞の新部門って、単発で終わってしまうことが多かったんですが、この部門は続いたようで何よりです。

ところでゲームといえば。

投稿仲間さんの影響で今更ながらFGOを始めました。

まだ昨日登録したばかりなんですが、グラフィックが綺麗で感動するし、とにかく情報量がスゴイというか。

ちょっと何？

このゲームが（課金しない前提なら）無料ってマジ？

何しろ昭和生まれの自分としては、「携帯ゲーム＝たまごっち」みたいな認識だったので、スマホでこんなゲームが出来るなんて今は素晴らしい時代だなと思いました。

（たまごっちをdisっているわけではないです）

だいぶ話がそれましたが、自作ゲームコンテストは9月30日（日）締切なので、腕に覚えのある皆様はチャレンジしてみてもいかがでしょうか。

最後の 5 分間コンテスト - 2018.07.13 Fri

こんにちは、らくだです。

カクヨムで投稿企画「LisPon ×カクヨム “最後の 5 分間” 小説×朗読コラボレーション・コンテスト」が開催決定しました。

小説部門と朗読部門があるようですが、ブログの趣旨上、ここでは小説部門について紹介します。

【最後の 5 分間コンテスト】

https://kakuyomu.jp/info/entry/lispon_short_contest

- ・ 募集内容 「最後の 5 分間」をテーマにした小説（ジャンル不問）
- ・ 受付期間 2018 年 7 月 25 日（水）～8 月 7 日（火）
- ・ 規定字数 1,200 字以内
- ・ 審査方法 LisPon とカクヨムが審査員となって優秀作を選出

ちなみに公式ツイッターによると、必ずしも滅びたり別れたりする必要はなく、最後の 5 分間なら何でもオーケーと書いてありました。

この条件で一体どんな作品を書くか。

書き手の想像力が試されるコンテストですね。

なお今回の企画はコラボなので「小説部門に投稿した作品を朗読部門の応募者が読んでくれる（ボイスをつけてくれる）」可能性があるということです。

なので、小説として面白いのはもちろんですが、ボイスをつけた時に見応え（聞き応え？）があるかどうか審査の対象となりそうですね。

以上、最後の 5 分間コンテストの紹介でした。

こんにちは、らくだです。

少し前に開催が予告されていた「カクヨム×魔法のiらんどコンテスト」の応募要項が公開されました。

受賞作はビーズログ文庫で書籍化される模様。
詳細については下記公式サイトをご覧ください。

【カクヨム×魔法のiらんどコンテスト】

https://contest.kadokawa.co.jp/kakuyomu_maho2018/

<受付期間>

2018年10月15日（月）～12月3日（月）

<規定字数>

8万字～10万字（完結必須）

<募集部門>

- ・泣かせる腕には自信アリ！ジャンル問わずの「泣ける小説部門」
- ・腐女子・腐男子に限らず様々な分野のオタク大歓迎！「オタク主人公部門」
- ・舞台は学園限定！「謎解きミステリ小説部門」

1つの作品で複数の部門に参加できるようなので、仮に内容が「オタクが主人公の泣ける学園ミステリ」だった場合、3部門すべてにエントリーしてもいいわけですね。

受付開始は10月なので、まだ相当な時間がありますが、投稿予定の皆様は今から準備してみてもいいでしょうか。

以上、カクヨム×魔法のiらんどコンテストの紹介でした。

艦これ氷祭り 1 - 2018.07.15 Sun

こんにちは、らくだです。

幕張メッセで開催の「艦これ 鎮守府氷祭り」に参加してきました。

艦これイベは初参加ですがとても楽しかったです。
というわけで写真をアップしつつ感想などをメモ。



まずは新幹線で新大阪から東京へ。

そこから京葉線に乗り換えて海浜幕張へ向かいます。

結果的に自宅出発から約4時間半で到着しました。

駅を出たら最高にいい天気でテンションが上がります。



実は幕張には初めて来ましたが、交通の便も悪くないし、お店もたくさんあるし、広々していて雰囲気もいいですね。

下は会場へ向かう途中の写真。

青空がまぶしくて真夏のような空気です。



さてさて。
会場前に到着しました。

イベントホールが開くのは 12 時から。
その時間にはまだ早いので先に物販へ行くことにします。

イベント名	場所
「龍これ」鎮守府「水」祭り in 幕張特設会場 —水上の観艦式—	イベントホール
第4回全国そばんコンクール 決勝大会	国際会議場
マイナビ看護学生就職セミナー 幕張会場	国際会議場

楽しみだなー。
目当てのグッズ買えるかなー。
パンフと赤城さんのTシャツ欲しいなー。

と思いつつ売り場へ向かった自分、物販会場を一目見て敗北を確信。



床が見えない……だと……？（戦慄）

正直この手のイベントを甘く見てました。

後で聞いたら始発でも大半のグッズは買えなかったそうです。

てかこれ満員電車ですやん。



記入式のオーダーシート。

ご覧の通りたくさんさんのグッズがあります。

ただし大半のグッズは売り切れ状態。

どんどん貼られていく「SOLD OUT」の赤シールが切ないです。



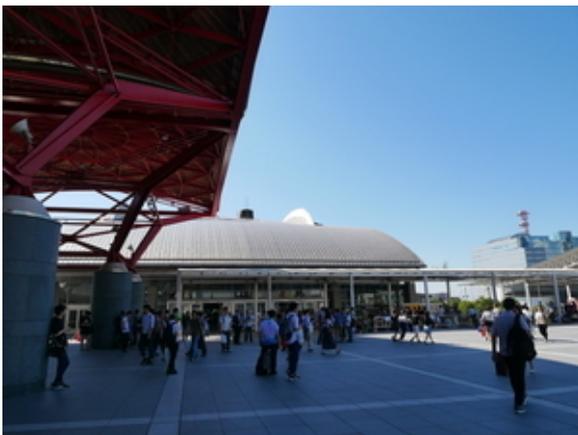
グッズは早々に諦めました、フードの行列は比較的マシだったので、頑張って並ぶことにしました。

マシと言っても1時間は並びましたが、物販列の地獄を見た直後だと、1時間でも短いように感じられません。



秋津洲カレーと瑞雲フロートの食券をゲット。
かき氷やクレープは残念ながら売り切れでした。

ここで開場時間になったので、カレーを食べるのは後にして、イベントホールへ戻ることに。



今回友人とダブル当選したため、チケットが2枚余っていました。
なのでツイッターで譲り先を募集して、この場所で同行者さん達と会いました。

人見知りの自分にとってはハードな展開でしたが、皆さん明るい方々で話も弾んだし、大きなトラブルもなく合流できてよかったです。

やはり「同じ趣味がある」というのは強いですね……！



とにかくそんなわけで入場列に並びます。
この写真は男性中心ですが女性の参加者も意外と多く感じました。

イベントの詳しい内容などは次回書こうと思います。

【次回へ続く】

艦これ氷祭りの感想

<全体の感想>

- ・ 最初から最後まで割とガチのアイスショーだった
- ・ 艦これの演習や出撃やイベントボス戦が氷上で再現される
- ・ 例えるならばアニメやアーケードを実写化したようなイメージ
- ・ 砲撃や雷撃がプロジェクションマッピングで再現されて迫力の見応え

<スケート部分>

- ・ 伊藤みどりさんが敵のボス役で登場
- ・ 彼女は女子で初めてトリプルアクセルに成功した伝説の人
- ・ 現役時代に見せていたパワフルで圧倒的な存在感はなおも健在だった
- ・ てか彼女、今はアイスショー出てないよね？ 運営どんなオファー出したん？

- ・ 提督役の無良崇人さんが大好評だった
- ・ 通常リンクより狭いのに余裕のトリプルルッツ
- ・ 14日公演ではどうやらトリプルアクセルも降りたらしい
- ・ 男性提督まで「無良提督の艦娘になりたい！」と言い始める
- ・ 前からファンだった自分「だろぉ？（ドヤ顔）」みたいな気分になる

<艦これ部分>

- ・ 声優なのにスケートをするウォー様こと内田秀さん
- ・ アイスショーの最中に唐突にねじ込まれる艦娘音頭
- ・ てか踊れる人多いね！？ 自分は難しくて諦めたよ！？
- ・ 新しい情報は特になかったけど夏イベはどうなるんだろう

<まとめ>

- ・ 物販は地獄だとわかって勉強になった
- ・ 次のイベントまでに艦娘音頭を覚えておきたい
- ・ 食材イベで燃え尽きたけど久し振りに艦これにログインしようと思った
- ・ これをキッカケにフィギュアスケートにハマる提督が増えると個人的に嬉しい

こんにちは、らくだです。

イベントを楽しんだ後、物販会場へ戻りました。

お昼抜きなのでお腹がペコペコ。

早く食券を買っておいたカレーを食べましょう。



こちらがフードの受け取り場所。

時間が遅いせいか割とスムーズに交換できました。

まずは秋津洲カレーの写真。

アボガドとチーズがトッピングされています。



<感想>

予想以上に辛口かも！

なんだか舌がピリピリするかも！

秋津洲ならキャラ的には甘口だと思うんですが。

なお完食した時にはオマケのアイスが溶けていました。



こちらは瑞雲フロート。
コーラの上に抹茶アイスという斬新な組み合わせ。

食べたらカレーの余韻が中和されていていい感じでした。
そして抹茶とコーラが意外と合うことにビックリです。



会場に飾ってあった垂れ幕。
よみずいランドの榛名バンジーで使われた物らしいです。

榛名は大丈夫……なのですが、姉の金剛はボロボロになっていて、遠目に見ても色あせてますね。



よみずいランドというのは、今年の春に遊園地よみうりランドで開催された、艦これコラボイベントです。

開催期間は4月21日～5月27日でした。

残念ながら自分には行けませんでした。こうしてポスターなどを見られて満足。



ちなみに余談ですが……。

食券の列に並んでいたら近くに若い女の子の2人組がいて、「彼女達はスケートファンだろうな～」と思って話を聞いていたら、2人ともリアルイベント全参加のガチ提督だったという。

艦これって女性ファンも多いんですね。

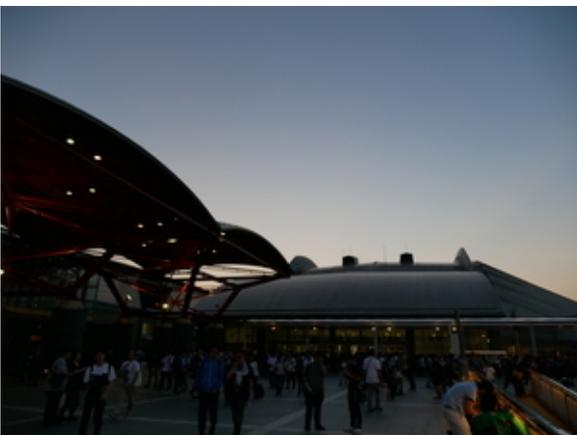
意外だけどちょっと心強く感じました。



会場内に飾ってあったパネル。
これだけ並ぶとなかなか壮観です。

なお今回は、昼の部と夜の部に両方当選したので、贅沢なことにSS席のアリーナ前方で2回も観戦することができました。

落選者も多かったようなので当選してラッキーです。
まあ14日の初回公演は自分も落選したんですけどね。



夜の部が終わった後の会場の様子。
とっぴりと日も暮れて暑さも少し和らぎました。

それにしても本当に充実した一日だったし、また開催されるなら参加したいし、このイベントを教えてくれた友人に感謝です。



以上、艦これ氷祭りの感想でした。
次回からは通常の投稿ブログに戻ろうと思います。

【終わり】

こんにちは、らくだです。

第1回ビーズログ小説大賞の1次発表がありました。
旅行中でチェックが遅れましたが先週末に発表されていたようです。

以下リンク。
通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

http://bslogbunko.com/bslog_award/index.html

- ・応募総数 522本
- ・1次通過 64本
- ・通過率 約12%

ちなみにこの賞、去年までえんため大賞の1部門でしたが、今年からビーズログ大賞として独立しました。

参考までに去年のデータを載せておきます。
女性向けのビーズログ部門とアリス部門を合わせた数字です。

- ・応募総数 441本
- ・1次通過 55本
- ・通過率 約12%

応募数は少し増えましたが、通過率はまったく一緒ですし、選考スタイルに大きな変化はないと見てよさそうですね。

以上、ビーズログ大賞1次発表の話題でした。

こんにちは、らくだです。

カクヨム甲子園の開幕が目前に迫ってきました。

8月10日にはニコニコ生放送で特別番組も配信されるとか。

その番組の中で、作家の蒼山サグ先生がユーザー作品を添削してくれるという、高校生以外も参加可能なスペシャル企画が実施されるそうです。

【～蒼山サグ先生がキミの物語を添削～】

https://kakuyomu.jp/info/entry/koshien2018_blog_071601

- ・ 募集内容 カクヨム甲子園 2018 のキービジュアルから想起される物語
- ・ 受付期間 2018年7月16日（月）～7月31日（火）
- ・ 規定字数 1,200字以下

お題のキービジュアルはリンク先に載っています。

うーん……。

自分ならどんな物語を書くかなあ……。

と思ってよく見たら麒麟レモン何気なく置いてあってワロタ。

そういえば今回のカクヨム甲子園は麒麟の協賛で、受賞したら麒麟レモン 240本が貰えるんですね。

【麒麟レモン賞について】

https://kakuyomu.jp/info/entry/koshien2018_blog_060800

それはさておき、冒頭で紹介した添削企画は高校生以外も参加できるので、絵を見てピンときた皆様はチャレンジしてみてもいいかもしれません。

第 2 回漫画脚本大賞 - 2018.07.20 Fri

こんにちは、らくだです。

週刊少年マガジンによる「第 2 回漫画脚本大賞」が現在開催されています。

以下、公式サイトのお募要項。

【お募要項】

<http://morning.moae.jp/page/mangakyakuhon2>

大賞を受賞すると雑誌の連載確定で、優秀賞や奨励賞にも担当がつくとか。

お募に必要なのは以下の 3 点。

自分でイラストを描く必要はなく、完全に文字だけでお募できます。

1 企画書 (A4・1 枚)

- ・タイトル
- ・あらすじ
- ・お募作が単行本になった時、帯に入れたいキャッチコピー

2 連載 1 話分の脚本

- ・30 分アニメの 1 話分相当の文章量で、小説・脚本など形式は不問

3 今後の展開案 (A4・1 枚)

特筆すべきは 1 話のみでお募可能な点でしょうか。

「面白いプロットがあるんだけど」

「でも最後まで書くのは面倒だなー」

「俺の傑作、誰か漫画にしてくれない？」

という場合には、まさにうってつけの賞だと思いますし、脚本に興味のある皆様はチェックしてみてください。

こんにちは、らくだです。

第6回からカクヨム応募が可能になった角川つばさ文庫小説賞。

それを記念して前回の受賞者である田原答さんのインタビューがUPされました。

【第6回角川つばさ文庫小説賞受賞者インタビュー】

https://kakuyomu.jp/info/entry/tahara_tou_interview

<質問項目>

- ・小説を書き始めたきっかけ
- ・創作をはじめるとあって影響を受けた作品
- ・角川つばさ文庫小説賞に応募しようと思ったきっかけ
- ・受賞が決まってから今日までのこと
- ・日常生活と執筆はどのようにバランスをとっているか
- ・キャラクターのイラストが上がってきた時の気持ち
- ・イラストに関して作者の希望やこだわりはあったか
- ・担当編集とのやりとりで印象に残ったこと
- ・今後の目標
- ・これから応募する人へのメッセージ

という盛り沢山のインタビューです。

なお自分にとって興味深かったのは以下の項目。

- ・担当編集から各章を10ページ前後にするようアドバイスがあった
- ・この10ページというのは、子ども達が学校の『朝の読書時間』の10分間で、ちょうど読み切れる分量

これは児童向けならではのポイントですが、他にも参考になる情報がたくさんあるので、皆様チェックしてみてもいかがでしょうか。

こんにちは、らくだです。

昨日からカクヨム甲子園 2018 が始まりました。

それを記念して初代受賞者である七星さんのインタビューが公開されています。

【カクヨム甲子園インタビュー】

https://kakuyomu.jp/info/entry/koshien2018_blog_072101

<質問項目>

- ・ 小説を書き始めた時期ときっかけ
- ・ カクヨム甲子園に作品を応募した理由
- ・ 受賞作は着想から完成までどのくらいの時間をかけたか
- ・ 受賞作のアイデアは何から着想を得たか
- ・ 「テーマ」「構成」などの観点から工夫したこと、苦勞したこと
- ・ これから参加する高校生へのアドバイスと応援メッセージ

という内容になっています。

なお一番驚きだったのは完成までにかかった時間。

「正確には覚えてないですが、思いついてから書き終わるまで確か 3 時間、校正を含めたら多分 4 時間」

マジかよ……。

短編とはいえ 4 時間で完成したとか……。

でも、実際受賞しているわけですし、こういう執筆スタイルもアリですよ。

自分のように落選回数が多くなると、色んな意味で慎重になってしまうものですが、とにかく「書きたい！」という情熱をぶつけるのも大事だと再確認した次第です。

こんにちは、らくだです。

ウェブコバルトで新たな投稿企画が始まりました。

今回のテーマは「権力者の犬」。

前回の妄想バブル小説賞に続き面白い作品が集まりそうです。

【権力者の犬小説賞】

http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/dog_of_authorities/

- ・ 募集内容 「権力者の犬」をテーマとした小説
- ・ 規定字数 400字詰め原稿用紙換算 3～30枚
- ・ 応募締切 2018年8月31日（日）
- ・ 入選賞金 1万円分の図書カード

なお今回は、おふざけ企画（褒め言葉）のせいか、諸注意の文章がいつもと違うノリになっています。

「受賞作品の著作権および映像化、商品化等の話なんてないとは思いますが、もしあったら二次的利用の権利は全て集英社に帰属するものとします」

「同じ作品によるほかの文学賞への二重応募は認めません（応募しても賞とか取れないとは思いますが）」

待て！

賞とか取れないって言うな！

いやでも、こういう遊び心は楽しいですし、中の人に対して何となく親しみやすさを感じますよね。

以上、権力者の犬小説賞の紹介でした。

こんにちは、らくだです。

ウェブコバルトで「ホラー小説短編賞 R」が始まりました。
開催期間は昨日紹介した「権力者の犬小説賞」とほぼ同じになっています。

2つの投稿企画が同時に実施されるのは珍しいですね。
ホラーは季節物だから秋まで待てなかったということでしょうか。

【ホラー小説短編賞 R】

http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/horror_award_r/

- ・ 募集内容 ホラージャンルの小説
- ・ 規定字数 10,000 字～30,000 字
- ・ 応募締切 2018 年 9 月 9 日（日）
- ・ 投稿方法 ウェブ応募
- ・ 入選賞金 5 万円

ホラージャンルと書いてありますが、スプラッタ・クローズドサークル・オカルト・ゴシック等々、怖い小説なら何でも OK だそうです。

ちなみに自分、ホラーは苦手なので送れませんし、入選作品が公開されても読めそうにありません（汗）

だって怖いじゃん！

読んだ後 1 人でトイレ行けないじゃん！

（いや行きますけど）

というわけで自分は個人的に苦手なのですが、夏といえばホラーですし、お好きな方は挑戦してみたいかがでしょうか。

こんにちは、らくだです。

現在カクヨムで開催中の「電撃《新文芸》スタートアップコンテスト」。
その応援企画として現役作家さんへのインタビューが公開されています。

第2回の担当は安里アサト先生。
以下に記事へのリンクを貼っておきます。

[【コンテスト応援企画】「今の電撃に足りないのはコレだ」第2回：安里アサト](#)

<結論>

「尖ってて攻めてて、趣味全開の熱い話を読みたいです」

というわけで。
話をまとめると「好きな方向に全力投球して欲しい」ということです。

しかし考えてみれば、それもそうですよね。

これまで色々な小説を読んでいて思ったのですが、人の心に深く残るのは「短所のない作品」ではなく、「短所もあるけど長所もある」作品じゃないかなって。

特に新人賞ではその傾向が強い気がします。
全体的に欠点もあるけど魅力もある作品が多いというか。

とにかくそんなわけで、自分の長所を最大限のばすためにも、好きな方向に全力投球するのは大事なのではないのでしょうか。

なおこの企画はまだ続くようなので、第3回が更新されたら、またここで紹介したいと思います。

こんにちは、らくだです。

震度6の地震があったかと思いきや、前代未聞の大雨が西日本を襲い、ここ最近は観測史上初の猛暑で、今週末は台風が直撃するんだとか。

ちょっとわけがわからないですよ。

1999年よりも今の方がよほど世紀末っぽいです。

さて本題。

文学フリマ短編小説賞 2018 の1次発表がありました。

公式サイトに情報がなかったのが1週間ほど遅れましたが、なろうブログで発表されていたようです。

【発表ページ】

<https://blog.syosetu.com/?itemid=3603>

通過数は25本でした。

お名前のあった皆様はおめでとうございます。

なお今回は、複数通過（同じ作者のシリーズ作品が通過）しているケースが見られました。

従来の公募の場合だと1作完結が前提で、シリーズ作品の応募はなかなかできないので、この傾向はネット小説のコンテストならではの傾向だと思います。

以上、文学フリマ短編小説賞1次発表の話題でした。

なお最終発表は8月上旬らしいので、更新されたらまた紹介したいです。

《タイトル斬り！！》コンテスト- 2018.07.27 Fri

こんにちは、らくだです。

カクヨムで新たなコンテストが始まりました。

今回はタイトルが用意されており、それに従った作品を書くという、ちょっと変わったコンテストです。

【《タイトル斬り！！》コンテスト】

https://kakuyomu.jp/contests/sneaker_title

用意されたタイトルは以下3つ。

それぞれ規定字数が違う点に注意です。

1「振り返ればあの時やれたかも：編集 I」

- ・ 10代の読者を対象としたタイムリープものエンタメ作品
- ・ 50,000字以上の中編作品であること（未完の作品は選考対象外）

2「属性は何を選択すればお嫁さんにしてくれますか？：編集 H」

- ・ 本タイトルから想起される作品であること
- ・ 長編、短編の制限はなし（未完の作品は選考対象外）

3「隠居魔王の成り行き勇者討伐 倒した勇者達が仲間になりたそうにこちらを見ている！：編集 O」

- ・ 主人公が魔王であること
- ・ 50,000字以上の中編作品であること（未完の作品は選考対象外）

なお選考基準は担当編集の独断（星やレビューの数は関係ない）そうなので、タイトルを見てピンと来た皆様はチャレンジしてみてもいいのではないでしょうか。

以上、《タイトル斬り！！》コンテストの紹介でした。

こんにちは、らくだです。

第 20 回えんため大賞ファミ通文庫部門の 2 次発表がありました。

以下リンク。

通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/famitsubunko_20entry.html

- ・ 応募総数 520 本
- ・ 1 次通過 94 本 (約 18 %)
- ・ 2 次通過 9 本 (約 1.7 %)

ところでファミ通文庫のお知らせ欄と、それからついでに公式ブログ、最終更新が今年の 2 月なんですよ
ね。

【公式サイト】

<http://fbonline.jp/>

【公式ブログ】

<http://blog.fbonline.jp/>

なぜ更新が途絶えたのか……。

さすがにちょっと気になるんですが……。

公式ツイッターは健在のようなので、レーベル廃刊とかはないはずですが、安心して投稿できるよう何か告知が欲しいところです。

以上、えんため 2 次発表&公式ブログに関する話題でした。

こんにちは、らくだです。

えんため大賞の新部門「e ロマンズロイヤル大賞」の 1 次発表がありました。

以下リンク。

通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/eromanceroyal_entry.html

- ・ 応募総数 117 本
- ・ 1 次通過 17 本
- ・ 通過率 約 15 %

ちなみにこの賞は「女性向け R18 恋愛小説」のコンテストです。

通過作にはリンクが貼ってあるのでクリックすれば普通に読めます。

まあ、なんというか、アレですよね……。

今の時代 R18 のコンテストは珍しくないですが、普通は通常の賞と分離して開催されることが多いので、えんため大賞の 1 部門として実施されたことが正直驚きだったというか。

そんなわけもあってか、応募数はやや少なめだったようですが、第 1 回の今回が成功すれば次回からはもっと増えるかもしれません。

なお 2 次発表は 8 月中旬らしいので、結果が更新されたら、またここで紹介したいと思います。

以上、「e ロマンズロイヤル大賞」1 次発表の話題でした。

こんにちは、らくだです。

角川ビーンズ小説大賞のジュニア部門が今年も開催決定しました。
応募資格は18歳以下という若さあふれるフレッシュなコンテストです。

以下、公式サイトのお募要項。

【ビーンズ小説大賞ジュニア部門】

<https://beans.kadokawa.co.jp/award/entry-1363.html>

- ・ 作品テーマ 「音楽」「学校」「夢」からテーマをひとつ選択
- ・ 参加資格 2019年1月10日時点で18歳以下であること
- ・ 受付期間 2018年10月1日～2019年1月10日
- ・ 規定枚数 400字詰め原稿用紙で50枚以下
- ・ 応募本数 1人1本のみ受付

なお公式サイトでは前回のグランプリ作品が公開されています。

【『奇跡の歌声』東雲 紗来良】

<https://beans.kadokawa.co.jp/award/17th-award/entry-1287.html>

カクヨム甲子園もそうですが、10代の作者が書いた小説を読むと、「これが書きたい！」という強い気持ちが伝わってくるような気がします。

こういう情熱や意気込みは、なかなか狙って出せるものではないですし、若さあつての魅力ですよ。

というわけで。

18歳以下の皆様はこの機会にチャレンジしてみたいかがでしょうか。

【第3回】今の電撃に足りないのは- 2018.07.31 Tue

こんにちは、らくだです。

現在カクヨムで開催中の「電撃《新文芸》スタートアップコンテスト」。
その応援企画としてクリエイターさんのインタビューが公開されています。

第3回の担当はアニメプロデューサーの川瀬浩平さん。
コンテストに参加予定の方々は必見の内容となっています。

[【コンテスト応援企画】「今の電撃に足りないのはコレだ！」第3回：川瀬浩平](#)

色々書いてありますが要約するとこうでしょうか。

<これからの作家に必要なもの>

既成のフォーマットを破る勇氣

<これからの編集に必要なもの>

それをお客さんに分かりやすく体感させるプロデュース

つまるところ、最近のラノベは既成の枠にハマった作品が多いので、それを打ち破るくらい「自由な」「ぶっ飛んだ」作品が必要じゃないかと書いてあります。

ちなみに今回のコンテスト、受付期間は8月26日（日）までですが、すでに応募総数が1,555作品を突破したとか。

自分もこっそり参加中ですが最終的にどれくらい集まるか楽しみです。

なおこの企画はまだ続くようなので、第4回が更新されたら、またここで紹介したいと思います。